奥飛騨の森でテナント貸し

2025年5月8日(木)中日新聞朝刊

温泉郷へアクセス良好

映画上映、ツリーハウス…活用模索

夕刊から

高山市奥飛騨温泉郷の福地温泉で、都市部のビル賃貸会社による森の「テナント貸し」が動き出している。あるがままの環境を生かし、住民や全国の人々がカフェや映画館、ツリーハウスなどの活用法を模索。放置されていた森が眠りから覚め、温泉地と自然をつなぐ場として発信を始めた。

（北川鈴乃）

4月下旬、福地温泉に隣接する森を10人ほどが歩き回った。ツリーハウスにする木を探したり、プロジェクターが使えるか確かめたり、ツアーの道順を決めたり…。すがすがしい空気を全身で感じながら、森の活用法を練っていた。

事業を手がけるのは、岐阜市で新岐阜ビルなどを経営する「新岐阜興業」。大橋司社長（61）は、創業者である祖父が同温泉近くのクワ畑だった土地を購入していたことを5年前に偶然知った。

生い茂るクマザサを刈りながら進むと開けた場所が見つかり、気付けば昼寝をしていた。「癒やされた。この時間と空間を分かち合わないのは、もったいない」。だが温泉開発は地元の旅館と競合する。使い道を考えあぐね、森林活性化事業などを手がける飛騨市古川町の会社「飛騨の森でクマは踊る（ヒダクマ）」に相談した。

「テナント貸し」する森の使い道を話し合う関係者たち＝高山市の奥飛騨温泉郷で

2023年、両社と地元観光協会などで「森をひらくプロジェクト」を発足。住民との対話や植生調査、森林浴や雪遊びなどのワークショップを重ね、森を開発するのではなく事業者や個人に自由に使ってもらうテナント方式にたどり着いた。ワークショップなどに必要な道具を貸し出して利益を得る構想だ。

森には既に、多様な人が関わり始めている。高山市の猟師、葛西一太さん(43)らは「人と動物の新しい共存の形が見える取り組みを」とクマの目線で森を巡るツアーを企画。上映会を催すヒメシャラ映劇（同市）の押川瑞姫代表(31)は「川の音や空気感も楽しんで」とプロジェクターの配置を思案し、奈良県で公園「空中の村」を手がけるフランス人のジョラン・フェレリさん(33)は「普段とは違う目線で森を楽しみ、大人も憩える場に」とツリーハウスを設置する計画だ。

オープンは8月を予定。大橋社長は「森を起点に人がつながり、地域全体に人が集まる場にしたい」と話している。問い合わせはヒダクマ＝0577（57）7686＝へ。

中日新聞社会事業団 岐阜支部だより 058(265)0233

【脊柱管狭窄症の治療について～市民公開講座】18日（日）岐阜市下奈良の県福祉農業会館2階（後1～3）▽透析患者は脊椎疾患が多いと言われる。脊柱管狭窄症の特徴的な症状の間欠跛行（かんけつはこう）の治療について静岡県立総合病院脳神経外科の川那辺吉文医長が講演▽参加費無料・予約不要☎058（214）2497・県腎臓病協議会

【薬物依存症電話相談】薬物やアルコール依存症などの相談▽14日（水）☎058（201）3555（前10～後4）岐阜ダルク

【心の病電話相談】9日（金）、13日（火）、15日（木）☎058（271）8169（前10～後3）県精神保健福祉会連合会

【認知症介護者のつどい】＝要予約

【13日】高山市・認知症の人と家族の会飛騨地区事務所（後1・30～3）☎090（5451）4860　高井【15日】池田町中央公民館（後1・30～3）☎090（1099）3731　久保田【16日】岐阜市・岐阜中日ビル（後1・30～3・30）☎058（232）1325　竹中▽各務原市総合福祉会館（後1・30～3・30）☎058（384）1879　宮脇▽川辺町保健センター（後1・30～3）☎090（5600）6490　長尾

中日新聞社会事業団寄託
岐阜支部郵便振替
00820-0-28516